

\*\*\*\*\*

開講科目名：現代会計論研究 (4単位)  
開設年次：2年 3年  
開設学部：会計学研究科博士前期課程会計学専攻  
担当者：荒鹿 善之

\*\*\*\*\*

#### 《授業の概要》

##### 【授業の概要】

1980年代後半から会計基準の国際的調和化が盛んに議論されるようになり、近年では世界各国において国際会計基準（IFRS）の国内導入（アドプション）が行われています。日本でも企業会計基準委員会（ASBJ）が設置され、会計基準の国際化対応に追われてきました。現在では、既に100社を超える企業が国際基準を任意で適用するようになりました。

このような現状においては、修士論文やリサーチペーパーを執筆するにあたり、会計に関する外国語文献に触れる必要があると考えられます。そこで本講義では会計学の基本的な英語文献の輪読を行い、論文の執筆において少しでも英語文献を参考にできるような準備を行いたいと考えています。

##### 【授業の内容】

- 1 前期のガイダンス
- 2 会計とは何か (what is accounting?)
- 3 財務会計 (financial accounting)
- 4 管理会計 (management accounting)
- 5 アニュアル・レポート (annual report) の利用者
- 6 基礎的概念 (fundamental concepts)
- 7 基礎的原則 (basic principles)
- 8 代替的なモデル (alternative models)
- 9 貸借対照表 (balance sheet)
- 10 貸借対照表の区分表示 (grouping)
- 11 貸借対照表項目の測定 (measurements)
- 12 損益計算書 (profit and loss account)
- 13 損益計算書の区分表示 (grouping)
- 14 損益計算書項目の測定 (measurements)
- 15 前期のまとめ
- 16 後期のガイダンス
- 17 キャッシュ・フロー計算書 (cash flow statement)
- 18 目的 (purposes of the CFS)
- 19 モデル (the model of the CFS)
- 20 簿記の基礎 (basic understanding of bookkeeping)
- 21 複式記入 (double-entry accounting)
- 22 勘定-借方と貸方 (accounts-debit and credit)
- 23 取引の記録 (recording transactions)
- 24 決算 (period-end accounting)
- 25 認識 (recognition of revenue and income)
- 26 棚卸資産 (inventories)
- 27 債権 (debtors)
- 28 有形固定資産 (tangible fixed assets)
- 29 無形資産 (intangibles)
- 30 後期のまとめ

##### 【評価方法】

授業における課題の発表内容、および期末に提出するレポートの内容から総合的に評価します。

#### 《テキスト》

Kinserdal, A. "Financial Accounting-an international perspective-(second edition)" Financial Times Management.

Nobes, C. and Parker, R. "Comparative International Accounting, 13th ed." Pearson.

《参考書》

Kawasaki, T. and Sakamoto, T. “General Accounting Standard for Small and Medium Sized Entities in Japan” Wiley.